

令和5年度 学校関係者評価実施報告書

学校番号	1	学校名	静岡県立下田高等学校（全）	記載者	加藤 浩之
------	---	-----	---------------	-----	-------

評価	基準	評価	基準
A	十分目標を達成することができた	C	あまり目標を達成することができなかった
B	おおむね目標を達成することができた	D	ほとんど目標を達成することができなかった

本年度の取組（重点目標はゴシック体で記載）

	取組目標	成果目標	自己評価	関係者評価	意見
ア	すべてに優先する安心安全な学校づくり	生徒データ等を含む情報データにおいて、情報漏洩等のトラブル防止に加えて、利便性の高い情報システムの構築を行う。（教務課）	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・校内での情報システムの利便性がより向上することを期待します。 ・多忙の中でデータの持ち帰りなど無いよう注意してほしい。 ・利便性の高い情報システムにより、安心して情報共有などができていると思います。
		<ul style="list-style-type: none"> ・安全に関する教育（ネットワーク利用犯罪、不審者、薬物等）の徹底 ・薬物講座、防犯教室を年1回実施（生徒課） 	B	B	<ul style="list-style-type: none"> ・各講座が生徒にとってより有益なものになってほしいです。 ・自転車マナーアップモデル校でスタントマンの実演などで交通ルールへの理解を深めていけたと思います。 ・生徒がどのように考えているかを知る必要があると思う。
		学期ごとの環境整備活動の円滑な実施と、生徒の心身強化のサポートを行い、安心して学校生活を送れる環境づくりに努める。（保健課）	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の心身をサポートする学校づくりを推進していただきたい。
		様々な状況を想定した防災訓練の計画と実施。防災意識を高める講座の計画と実施。災害後の生徒の動きも想定した防災計画の策定。（総務課）	B	B	<ul style="list-style-type: none"> ・課題に挙げられた自衛隊との連携などを実施していただきたい。 ・7月に自衛隊が来て炊き出しなど普段体験できないことが身近で感じられて防災の意識ができたと思います。 ・地域との連携（学校周辺、生徒の住んでいる所も）

様式第5号

イ	グローバルで活躍できる人材の育成	育成を目指す資質・能力を明確にし、キャリア教育の視点を持って、3年間を見通した体系的な進路指導を構築する（総合探究と特別活動の視点で）（進路課）	B	B	<ul style="list-style-type: none"> ・作成された「進路ストーリー」を活用し、系統的な進路の実現を期待します。 ・今年から始めた「自分軸」をこれから目標にして明確に進路を進んでほしいです。
		理数科生徒の各種研修や実験教室による、グローバルで活躍するための進路明確化支援。生徒の満足度五段階評価で平均4.0以上。（理数科）	B	B	<ul style="list-style-type: none"> ・理数科の教育活動をより充実させるとともに地域への発信を進めていただきたい。
		主体的な学びに有効なICT機器の整備と、研修等を通してそれを多くの教員が有効に活用できる（教務課）	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・ICT機器を活用し、主体的な学びにつなげていってほしい。 ・授業でも一人一つの端末を使い、ICT活用で時間を有効利用、円滑なコミュニケーションが取れていると思います。
ウ	主体的、能動的に学ぶ力の育成	主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度を培うキャリア体験活動の機会を設ける（地域連携によるリアルな活動とオンライン活用）。（進路課）	B	B	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な地域行事への参加を勧め、「一人一参加」を実現してほしい。 ・地域に出て頑張っていると思う。
		理数探究の充実による自ら考え、実行できる生徒の育成。生徒の満足度五段階評価で平均4.0以上。（理数科）	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・理数探究の発表会を校外で実施した試みを評価します。 ・生徒の満足度が4.9。理数探究の発表会で多くの方に参観していただき、今後にもつなげていってほしいです。
		総合的な探究の時間を通して、課題を発見し解決するための知識、技能を身につけるとともに、よりよい社会を実現しようとする態度を養う。（総探推進室）	B	B	<ul style="list-style-type: none"> ・「探究の時間」を充実させていくことが今後の高校教育の肝要となると考えます。 ・続けていくことが大切なので良いと思う。
エ	学校の組織力を高めるとともに、教職員の資質向上の推進	学校の現状と課題を検証し、教職員の内発的な意見を尊重した積極的な学校改革を行う。（あり方委員会）	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・「あり方委員会」での積極的な議論に期待します。 ・あり方委員会以外の方の出席を募り開かれた話し合いが行われているので、様々な意見が出て良いと思います。 ・職員間のコミュニケーションの重要性を感じます。
		学力向上、授業力向上のための提案を積極的に行う。それを目標とした研修会等を行う。（教務課）	B	B	<ul style="list-style-type: none"> ・教員の授業力向上には教科内での切磋琢磨しかないと思います。
		「進路シラバス」・進路検討会・高校生のための学びの基礎診断などを活用し、進路指導体制の理解を深める。（進路課）	B	B	<ul style="list-style-type: none"> ・入試動向に合わせた「検討会」の充実に期待します。 ・就職希望者に対する指導の充実。

様式第5号

オ	学校魅力・活性化のための開かれた学校	生徒の未見の可能性を耕し学びに向かう力の向上を焦点として、地元中学校・市役所・企業等との連携を体系的に整理し強化・発展させる。(地域連携推進室)	B	B	<ul style="list-style-type: none"> ・地域との連携事業は積極的に行われているので、これを生徒の進路などに結び付けてほしい。 ・地域や企業と連携（ローカルテレビ、新聞）し、様々な事に挑戦している姿を目にすることができました。 ・活動して頑張っていると感じた。 ・生徒に地域愛を育んでもらいたい。
		ホームページや学校案内、Instagram を活用して学校の魅力を発信する。(広報戦略室)	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・より学校の魅力発信を期待します。 ・HP はもっと更新してほしい。インスタはアメリカへの準備などされていて興味深い。
カ	業務改善と働きやすい職場の構築	共有ファイルを用いて各担当が業務の反省や改善点等を記録することで、業務を精選し、次年度への引継ぎが円滑に行われることを目指す。(教務課)	B	B	<ul style="list-style-type: none"> ・教員の業務改善のために取組を進めていただきたい。
		分掌や学年の業務内容を把握し協力体制を整えることで職員の負担軽減を図る。(あり方委員会)	B	B	<ul style="list-style-type: none"> ・教員の負担軽減により、生徒と見合う時間を確保していただきたい。
キ	教育目標達成のための適切な財務執行	学校経営予算執行率：上半期 60%以上、第3 四半期 80%以上 (事務室)	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・限られた予算の中での効率的な執行を期待します。
		内部統制制度「リスク有」とした24項目のミス未然防止 (事務室)	B	B	<ul style="list-style-type: none"> ・内部統制のチェック体制が整備されていると感じました。 ・軽微なミスしかなかったので来年度も引き続きリスクを減らしてほしいです。 ・軽微なミスはどここの事務所でもあります。